

編集後記

長崎大学工学部工学研究科インフラ長寿命化センター成果報告書（平成 22 年度）をお届けします。また、ご多用の中ご寄稿してくださいました先生方にはこの場を借りて御礼申し上げます。

「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」も終盤にさしかかり、残すところ 2 年となりました。今年度は、中間評価で A 評価とまずまずの結果を受けました。現在、“道守”継続のために、NPO の設立の準備をしております。今後とも、皆さま方とご縁を大事にしたいと思う所存でございます。ご協力・ご助言宜しく申し上げます。

一方、今年度は、端島炭坑等調査検討調査委員会に参画して、軍艦島内部を 3D レーザースキャナー及び全方位カメラで撮影し、計測したデータから 3D プリンターで模型を製作しました。報告書の表紙に載っているのが軍艦島内の 30 号棟の模型です。技術の進歩は早く、非接触で構造物を高精度で計測し、計測したデータから模型が制作できるようになっています。我々、インフラ長寿命化センターは、社会貢献だけでなくこのような優れた技術も保有しております。また、長崎県、NERC、民間会社からも技術相談が徐々に増えてきております。今後もますます増加するでしょう。今後も、みなさんのお力になればと思います。

目標！！インフラ長寿命化センターを大学直属のセンターに昇格できるように努力したいと思っております。

長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
編集委員 D.A

長崎大学工学部インフラ長寿命化センター活動報告書 <平成 22 年度>

編集・発行 長崎大学大学院工学研究科インフラ長寿命化センター
〒852-8521 長崎市文教町 1-14
TEL:095-819-2880 FAX:095-819-2879
<http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp>

印刷・発行 平成 23 年 5 月

※表紙は、軍艦島の写真（上）と 3D 計測データ（下）を記載しています。

※裏表紙イラストは出光隆先生より提供していただきました。